

基本目標2 健康で生きがいをもって、すこやかに暮らせるまちづくり【第5章】

1 介護予防と生活支援の充実

(1) 健康づくりの推進

① 健康診査

ア 特定健康診査

現状と課題	今後の方向性
<p>特定健康診査は、40歳から74歳までの赤穂市国民健康保険に加入している者を対象に実施内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の要因となっている生活習慣を改善させ、高血圧や高脂血症、糖尿病などの有病者・予備群を減少させることを目的として実施しています。</p> <p>また特定健診受診項目に腎機能検査を追加し、腎臓病の予防に努めています。</p> <p>特定健康診査が未受診の者に対しては、電話、訪問等により受診勧奨を行い、受診率向上に向けた取り組みを実施しています。</p>	<p>生活習慣病健診では、特定健康診査のみならず、がん検診も受診できる機会を増やし、対象者が受診しやすい環境づくりに努めます。</p>

【特定健診の受診状況】

	平成27年度	平成28年度（概数値）	平成29年度（見込）
対象者数（人）	8,691	9,113	8,650
受診者数（人）	3,284	3,274	3,300
受診率（%）	37.8	35.9	38.2

イ がん検診

現状と課題	今後の方向性
<p>胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん検診については、集団健診と同時にがん検診を実施しており、受診しやすい環境づくりを行っています。</p> <p>子宮がん・乳がん検診については、市内医療機関において検診を実施しています。特定の年齢の者に対し、無料クーポン券の配布を行い、受診率の向上に努めていますが、無料クーポン券の利用率が低いため今後も利用勧奨に努めていく必要があります。</p>	<p>今後も引き続き、検診受診の機会を増やすなど、受診しやすい環境づくりに努めていきます。</p>

【各検診の受診状況】

〔胃がん〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
対象者数（人）	16,686	16,707	16,707
受診者数（人）	2,048	1,686	1,700
受診率（％）	12.3	10.1	10.2

〔肺がん〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
対象者数（人）	16,686	16,707	16,707
受診者数（人）	4,071	3,787	4,010
受診率（％）	24.4	21.3	24.0

〔大腸がん〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
対象者数（人）	16,686	16,707	16,707
受診者数（人）	4,124	3,555	3,676
受診率（％）	24.7	21.3	22.0

〔前立腺がん〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
対象者数（人）	5,749	5,844	5,844
受診者数（人）	1,373	1,294	1,400
受診率（％）	23.9	22.1	24.0

〔子宮がん〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
対象者数（人）	12,886	12,195	12,195
受診者数（人）	1,678	1,620	1,700
受診率（％）	21.8	18.8	19.0

〔乳がん〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
対象者数（人）	10,571	10,504	10,504
受診者数（人）	1,531	1,366	1,520
受診率（％）	19.2	17.9	18.0

ウ 健康教育

現状と課題	今後の方向性
40歳以上の人を対象に、運動・栄養等の内容を取り入れた健康教育を各地区集会所や公民館等で実施しています。	市民一人一人が主体的な健康づくり活動を行えるよう支援していきます。

■開催回数＜現状＞

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（回）	414	419	420

■延参加人数＜現状＞

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	7,709	8,434	8,450

エ 健康相談

現状と課題	今後の方向性
<p>保健センター保健師・管理栄養士及び健康相談員により、健康相談を実施しています。</p> <p>健康相談員は、地区担当制で、各地区公民館における健康相談、地区集会所における健康教室で健康相談を実施するほか、随時、市民の方の健康相談に対応しています。</p> <p>年々、健康相談実績は増加しています。</p> <p>健康相談員による地区別健康相談は、地域に身近であることから、市民の健康づくりに役立っています。</p>	<p>今後も引き続き健康相談を実施し、市民の様々な健康相談に対応していけるよう、相談体制の充実を図ります。</p>

【健康相談の状況】

〔保健センター（保健師・栄養士）〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
電話相談（件）	8,134	9,837	9,850
面接相談（件）	2,247	2,102	2,150
計（件）	10,381	11,939	12,000

〔健康相談員〕

■電話相談＜現状＞

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
電話相談（件）	16	29	30
面接相談（件）	2,736	2,166	2,200
計（件）	2,752	2,195	2,230

(2) 介護予防の推進

① 介護予防事業（二次予防事業）の推進

ア 二次予防事業対象者把握事業

現状と課題	今後の方向性
<p>65歳以上の高齢者を対象に、訪問活動や郵送による基本チェックリストを実施し、その結果により、生活機能の低下及び要介護状態になる可能性の高い高齢者（二次予防事業対象者）を把握した。基本チェックリストの結果、二次予防事業対象者に選定された人のうち、二次予防事業参加に結びついたのは、27.5%でした。 (うち郵送によるものは6.6%)</p>	<p>基本チェックリスト郵送による対象者把握の方法を見直し、平成27年度で事業終了しました。 今後は、各種相談や訪問活動等を通して、必要者に基本チェックリストを実施し、閉じこもり等何らかの支援を要する者や総合事業対象者の把握に努め、介護予防活動につなげていきます。</p>

■実施件数<現状>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込)
実績値(件)	530	-	-

■事業費<現状>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込)
実績値(円)	253,336	-	-

イ 介護予防推進事業 コツ骨筋力向上トレーニング教室

現状と課題
<p>運動機能の低下がみられる二次予防事業対象者を対象に、総合福祉会館においてマシンを使った個別プログラムや体操を実施し、転倒骨折防止ならびに加齢に伴う運動器の機能低下予防・向上に取り組みました。 平成29年度からの総合事業の開始に伴い、一般介護予防事業として、いきいき百歳体操を全市に広げ、地域に根差した住民主体の活動介護予防活動の育成・支援に取り組みます。</p>

■延参加者数<現状>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込)
実績値(人)	813	733	-

■事業費<現状>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込)
実績値(円)	1,282,311	1,779,393	-

ウ 介護予防訪問事業

現状と課題
<p>通所による介護予防事業が困難な二次予防事業対象者に対し、保健師等による訪問指導を実施してきましたが、平成29年度からの総合事業開始に伴い、一般介護予防事業の中での総合的な取り組みとして、訪問等により、介護予防活動へつなげます。</p>

■延訪問者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (人)	9	6	-

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	37,627	16,000	-

② 介護予防事業（一次予防事業）の推進

ア 生きがいデイサービス（貯筋体操）

現状と課題	今後の方向性
老人福祉センター万寿園で行っている生きがいデイサービス利用者に対し、作業療法士等による体操や、ミュージックセラピストによる音楽療法を実施し、転倒骨折予防や認知症予防、加齢に伴う運動機能の低下予防・向上を図っています。	今後も引き続き介護予防に取り組む意欲を高めるため、生きがいデイサービスにおいて、貯筋体操及び音楽療法を実施していきます。

■延参加者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (人)	1,109	1,030	1,180

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	1,220,000	1,170,000	1,185,000

イ いきいき百歳体操推進事業（赤穂ピンしゃん運動事業から移行）

（ア）いきいき百歳体操推進事業

現状と課題	今後の方向性
平成 29 年度 25 団体が、自主活動によるいきいき百歳体操を実践しています。市内 9 地区のうち、活動団体のない地区もあり、全市的な活動となっていません。	全市にいきいき百歳体操を広げるため、未実施の地区について、活動が開始されるよう各種講座等を活用していきいき百歳体操の普及・啓発を図るとともに既活動団体活動への支援を継続していきます。

■実績<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
活動団体数	10	20	30
登録人数	182	485	785

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	1,770,687	1,579,525	1,768,000

(イ) 楽しく健康教室

現状と課題	今後の方向性
各地区公民館等において、介護予防のための体操及び講話を実施していましたが、平成 29 年度より生活習慣病予防対策として、体操及び講話を実施しています。	引き続き、生活習慣病予防対策として事業を実施します。

(ウ) いきいき百歳体操リーダー養成事業（赤穂ピンちゃん先生養成講座から移行）

現状と課題	今後の方向性
いきいき百歳体操を地域に根ざした自主的な活動にするため、各地区いきいき百歳体操代表者等を対象に体操実技や自主活動運営方法等のリーダー養成講座を実施しています。	地域での自主的な介護予防活動を推進するため、介護予防リーダーの養成・支援を行っていきます。

■受講者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	87	78	52

ウ 転倒骨折予防教室

現状と課題	今後の方向性
高齢者の日常生活の中でも比較的発生の頻度が高い転倒事故について、各地区の在宅介護支援センターが地域の高齢者等を対象に予防教室を開催することで、転倒予防の普及・啓発を行っています。	今後も継続して各地区において、より身近な場所で気軽に参加できる教室を心がけ、転倒予防の知識の習得や、自宅のできる転倒予防体操等を指導するなどして高齢者の転倒予防の充実を図ります。

■延開催回数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（回）	10	10	10

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	300,000	300,000	300,000

エ 認知症予防教室

現状と課題	今後の方向性
各地区の在宅介護支援センターが、地域の高齢者を対象に、認知症に関する学習会や認知症予防体操教室を開催し、認知症予防の普及・啓発に取り組んでいます。	今後も継続して各地区において、より身近な場所で気軽に参加できる教室を心がけ、認知症サポーター養成講座事業や高齢者を見守る支えるネットワーク事業とも連携を図りながら、認知症の予

	防に限らず、認知症になっても自分らしく生活できる社会の実現を目指し実施していきます。
--	--

■延開催回数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (回)	10	10	10

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	300,000	300,000	300,000

オ 情報提供事業

現状と課題	今後の方向性
<p>多種多様な高齢者の在宅福祉サービスについて、市民に広く情報を周知することは、とても重要なことです。情報提供リーフレットを作成・配布することにより、本市が取り組む高齢者の在宅福祉サービスに関する情報を広く提供していきます。</p>	<p>高齢者の在宅福祉サービスや生活支援に関するリーフレットを発行し、わかりやすく、きめ細やかな情報提供に努めます。</p>

【リーフレット】

■作成部数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (部)	700	1,000	1,000

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	119,448	135,000	180,000

カ 介護支援ボランティア・ポイント制度事業

現状と課題	今後の方向性
<p>高齢者自身の社会参加活動を推進し、健康増進と介護予防を図ることを目的とし、高齢者が介護保険施設等で行うボランティア活動の実績に応じてポイントを付与し、申し出によりポイントを換金できるしくみです。</p> <p>介護支援ボランティアへの登録人数は、新規に登録される方とやめられる方とで、ほぼ横ばいに推移しています。</p>	<p>活動を通して高齢者の健康増進と介護予防を図り、地域貢献を奨励することで、高齢者と地域や人とのつながりを深め、いきいきとした地域社会づくりを推進します。</p>

■延活動回数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (回)	4,211	4,183	5,450

### ③ 包括的支援事業

#### ア 介護予防ケアマネジメント事業

現状と課題	今後の方向性
<p>高齢者が要介護状態になることを防ぎ（発生を予防する）、要介護状態となっても状態が悪化しないようにする（維持・改善を図る）ため、事業対象者等の要介護状態となる可能性の高い高齢者や要支援1または2と認定された方に対し、介護予防に関する事業やサービス等の紹介・利用の支援やケアプランを作成していきます。</p> <p>平成29年度からは、総合事業の開始に伴い、①要支援1・2と認定された方で予防給付に関するケアマネジメントを実施する介護予防支援と、②地域支援事業による総合事業における介護予防ケアマネジメントに分けて介護予防ケアマネジメントを実施しています。</p>	<p>対象者数の増加に伴い、利用の支援やケアプランの作成件数が増加しています。</p> <p>今後も高齢者数の増加に伴い、対象者数の増加が見込まれるため、より適切なサービス等の利用の支援やケアプラン作成に努めます。</p>

#### ■ケアプラン作成件数<現状>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込）
実績値（件）	4,521	4,924	5,000

#### イ 総合相談支援・権利擁護事業

現状と課題	今後の方向性
<p>高齢となっても住み慣れた地域で安心してその人らしい尊厳のある生活が維持できるよう、訪問活動等により、様々な内容の相談を受けています。そして、その人の心身状況や生活の実態等を把握し、適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度・事業の紹介・利用につなげる等の調整や支援を行っています。</p> <p>近年、複合的な課題を有する困難事例なども多くなっており、成年後見制度の紹介、虐待への対応等、高齢者の権利擁護に関する相談を受け、支援を行っています。</p>	<p>高齢者数の増加に伴い、今後、相談件数は増加していくと思われます。また、家庭環境等の高齢者を取り巻く環境の変化等により、権利擁護や高齢者虐待など緊急の対応の必要性を判断し、早期対応を図るとともに、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関や制度などの利用につなげていきます。</p> <p>複合的な課題を有する困難事例への対応など、相談対応等の支援の充実を図っていきます。</p>

#### ■相談件数<現状>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込）
実績値（件）	1,285	1,086	1,500



## ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

現状と課題	今後の方向性
<p>高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、介護支援専門員、医療機関、関係機関等との連携、在宅と施設との連携など、個々の高齢者を支援する様々な職種や機関等連携を支援し、高齢者の状況や変化に応じたフォローアップに取り組んでいます。また、地域の介護支援専門員等の相談対応や情報提供を実施しています。</p>	<p>認知症高齢者の増加、一人暮らしや高齢世帯数の増加等、高齢者の生活状況が多様化しているため、今後も引き続き個々の高齢者がその人らしい自立した生活を送ることができるように、その人の生活全体を包括的・継続的に支えていくことが重要と考えられます。</p>

### ■ マネジメント件数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（件）	72	203	220

## ④ 任意事業

### ア 介護給付費等費用適正化事業

現状と課題	今後の方向性
<p>不正な給付の削減や適切な介護サービスを確保し、介護保険制度の信頼性を高め、介護給付費や介護保険料の増大を抑制することにより、持続可能な介護保険制度の構築を図っています。</p> <p>介護保険サービスの多様化、地域密着型サービスの拡大により、市の監督権限が拡大していることから、これまで以上に効率的・効果的な事業の推進が求められています。</p>	<p>今後も引き続き介護給付適正化計画に基づき、より効果的・効率的な適正化事業を実施するとともに、兵庫県国民県保険団体連合会との連携を密にし、介護給付費の適正化を図っていきます。</p>

### イ 家族介護教室

現状と課題	今後の方向性
<p>各地区の在宅介護支援センターが、地域の要援護者を介護している家族等を対象に、介護方法等についての指導や助言を行う教室を開催し、家族への介護支援を行っています。</p>	<p>今後も要介護認定者が増加する中で、家族に対する介護負担の軽減は重要な施策の一つです。介護についての正しい知識や理解を指導・助言することで、家族の負担を減らし、家族への介護支援を推進していきます。</p>

### ■ 開催回数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（回）	7	8	10

### ■ 事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	210,000	240,000	300,000

### ウ ねたきり老人紙おむつ給付事業

現状と課題	今後の方向性
ねたきり（6ヶ月以上常時臥床状態にある人）で、おむつの使用が必要であると判断された市内に居住する高齢者で、低所得世帯に属する人を対象に、1日あたり4組を限度として紙おむつを支給しています。	今後も民生委員や在宅介護支援センターと連携を図りながら、対象者の把握に努めるとともに、啓発活動等を充実させ、低所得世帯に対する介護の経済的負担を軽減するために実施していきます。

#### ■延利用者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	48	55	60

#### ■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	410,844	446,320	511,000

### エ 家族介護慰労金支給事業

現状と課題	今後の方向性
認知症やねたきりの高齢者を居宅で常時介護しており、過去1年間介護保険サービスを利用していない場合、介護者に対して介護慰労金を支給しています。	要介護認定者の家族に対しては、介護負担の軽減を図ることも重要と考え、必要な介護保険サービスの利用について促すとともに、条件に該当する人には、引き続き実施していきます。

#### ■支給対象者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	1	1	2

### オ 徘徊高齢者家族支援サービス

現状と課題	今後の方向性
徘徊のみられる認知症高齢者の事故防止を図るとともに、家族が安心して介護できる環境を整備するため、徘徊高齢者が行方不明になった場合、GPSを利用して早期に高齢者の位置を検索するサービスについて、費用の一部を負担しています。	今後、認知症高齢者の増加も予測されることから、引き続き事業を実施し、認知症サポーター養成講座事業や高齢者を見守る支えるネットワーク事業と連携を図ることで、徘徊による事故の未然防止を強化し、認知症高齢者が安心して暮らせるよう取り組んでいきます。

#### ■登録者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	4	4	4

## カ 認知症サポーター養成講座事業

現状と課題	今後の方向性
<p>認知症に対する正しい知識を市民に理解いただくことで、認知症高齢者やその家族に対する偏見や不安を取り除き、地域全体で認知症高齢者を見守る支える社会づくりを目指して取り組んでいます。</p>	<p>認知症高齢者の増加も予測されることから、市民の認知症に関する関心は高まると予想されるため、認知症サポーター養成講座を積極的に開催し、認知症サポーターを増やしていく必要があります。今後はさらに、関係機関と連携のもと実施後のフォローアップに努め、実際にインフォーマルな社会資源としてサポーターが活動の場を増やし、認知症の人や家族を支援できるよう施策の展開を図っていきます。</p> <p>さらに、認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバンメイトの養成にも取り組み、認知症施策の充実を図っていきます。</p>

### ■参加者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (人)	3,077	3,842	4,250

### ■延開催回数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (回)	10	20	15

### ■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	131,407	95,964	129,000

## キ あんしん見守りキーホルダー登録事業

現状と課題	今後の方向性
<p>個人を識別する番号と連絡先を記したキーホルダー等を交付し、キーホルダー等を携行した高齢者が、外出先の緊急時の通報や照会があった場合、登録された緊急連絡先に連絡し、緊急時に速やかな対応を行います。</p>	<p>今後、認知症高齢者を含む要介護高齢者の増加も予測されることから、外出時の事故や認知症高齢者の徘徊等による行方不明高齢者問題にも対応できるものと考えます。今後も、赤穂警察署など関係機関と連携のもと緊急時の対応が速やかにできるように努めます。</p>

### ■登録者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (人)	469	606	700

### ■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	34,992	151,700	250,000

## ク 成年後見制度利用支援事業

現状と課題	今後の方向性
<p>成年後見制度は、本人が認知症などの理由で十分な判断ができなくなったときに、親族等が家庭裁判所に後見人等の選任を申し立て、家庭裁判所が後見人等を選任する制度です。</p> <p>後見等開始の申し立てをする親族がない場合などに、成年後見制度の利用が必要と認められる人の財産管理や介護サービス契約等について、制度を利用できるよう支援を行っています。</p>	<p>西播磨成年後見支援センターと連携を図りながら、成年後見制度の利用に際して当事業の対象者を支援するとともに、市民後見人の養成・活用を図っていきます。</p>

### ■利用者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（件）	1	0	1

## ケ 住宅改修支援事業

現状と課題	今後の方向性
<p>介護保険の住宅改修制度をより使いやすくするため、居宅介護（介護予防）支援が行われておらず、住宅改修申請用の理由書の作成者を確保することが困難な人に対してその作成をしたケアマネジャーに、理由書作成費用を支給しています。</p> <p>今後、高齢者の増加が見込まれるため、住宅改修のニーズは高まっていくと思われます。</p>	<p>住宅改修希望者に対する支援策の一つであり、より良い住環境整備の促進のため継続して実施していきます。</p>

### ■助成件数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（件）	16	14	24

### ■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	32,000	28,000	48,000

## コ 自立支援配食サービス事業

現状と課題	今後の方向性
<p>市内に住む 70 歳以上のひとり暮らし高齢者や、75 歳以上の高齢者世帯で、心身障がい及び傷病等の理由により、日常の食事の調理が困難な高齢者を対象に、食事の支援を行っています。</p>	<p>配食サービスを通じて高齢者の自立支援を進めていくことは、高齢者の健康保持や介護予防の観点からも非常に重要なことです。</p> <p>また、栄養バランスに配慮した食事の提供や、</p>

	配達時の安否確認は在宅で生活する高齢者の安心を支えるサービスとして必要性も高く、今後も対象者の確実な把握と面接等による適切な調査（アセスメント）を行い、高齢者の自立を支援していきます。
--	--

■延利用者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	333	306	360

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	1,860,500	1,663,390	2,326,000

サ 介護相談員派遣事業

現状と課題	今後の方向性
<p>利用者と事業者の橋渡し役として、介護相談員がサービス提供事業所や施設を訪問し、利用者の日常生活における相談に応じたり、サービスに対する不満や要望等を聞き取ったりしています。この事業により、通常では伝わりにくい利用者の要望等を事業者に伝えることができ、また、その声を介護の現場に伝えることで、介護サービスの質的向上が期待されます。</p>	<p>引き続き施設等への派遣を行うとともに、新規に施設等が開設された際には、速やかに派遣を行っていきます。また、介護相談員同士の連絡会や研修の機会を設け、情報交換や相談能力の向上に取り組んでいきます。</p>

■延派遣回数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（回）	433	419	468

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	1,050,365	962,996	1,372,000

シ 緊急通報システム（安心見守りコール）事業

現状と課題	今後の方向性
<p>おおむね 65 歳以上のひとり暮らしで援護を要する高齢者が、在宅で安心して生活できるように、急病や事故等の緊急時に通報機のボタンを押すことで、即時に受信センターに通報され、近隣協力員や民生委員、消防本部等との連携で速やかに対応できるものです。</p>	<p>今後も民生委員をはじめ、地域包括支援センターや在宅介護支援センター、近隣の住民等関係各所との連携を密にし、地域全体で高齢者を見守る支えるネットワークの構築を推進することで、高齢者の安心した在宅生活の支援を図っていきます。</p>

■通報機器設置件数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（件）	366	353	380

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	7,766,028	7,582,548	8,084,000

⑤ 新しい介護予防事業の推進

現状と課題	今後の方向性
<p>平成 29 年度から、要支援者等に対して必要な支援を行う介護予防・生活支援サービス事業および一般介護予防事業を行っています。介護予防・生活支援サービス事業のうち、訪問介護については、現行相当、また、通所介護については、現行相当および通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）を介護予防ケママネジメントにより実施しています。</p> <p>一般介護予防事業は、介護予防普及啓発事業としてセルフマネジメントを推進するため介護予防手帳の作成及び配布、地域介護予防活動支援事業として住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的とするいきいき百歳体操を実施しています。</p>	<p>総合事業のうち、介護予防・生活支援サービス事業においては、訪問介護ならびに通所介護について現行相当のサービス、通所介護については、通所型サービスA（緩和したサービス）を実施しています。しかし、多様な生活支援のニーズに対応するためには受け皿としての多様なサービスが必要となるため、サービスの内容について検討・実施していきます。また、地域における住民主体の介護予防活動を支援するためいきいき百歳体操の普及・啓発・支援を継続します。</p>

(3) 生活支援サービスの充実

① 社会福祉協議会との連携強化

現状と課題	今後の方向性
<p>赤穂市社会福祉協議会は、地域社会において住民が主体となり、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体です。</p> <p>在宅福祉活動では、給食サービスや友愛訪問活動をはじめ、福祉用具貸与事業や移送サービスなどの事業を、また地域福祉活動においては、三世代交流事業や小地域福祉推進事業、ふれあいいきいきサロン事業、パートナーサービスモデル事業などを展開しています。</p>	<p>今後とも、社会福祉協議会を地域福祉活動を推進するリーダー役として位置づけ、ともに地域福祉の推進に取り組むとともに、活動に対する支援を行っていきます。</p> <p>また、社会福祉協議会との連携を強化し、福祉の意識づくりや福祉の担い手の育成をともに推進していきます。</p>

## ② 社会資源の活用

現状と課題	今後の方向性
市町村区域（第1層）および日常生活圏域（第2層）生活支援コーディネーターの活動により、地域における社会資源の把握や、課題抽出を行っています。	地域のニーズと資源状況の見える化を通し、把握された地域課題の解決に向けて、地域団体等多様な社会主体のネットワーク作りや情報共有を行い、不足しているサービスの創出について検討していきます。

### ア まちづくり団体（自治組織）との連携

取組内容 現状と方向性	まちづくり団体（自治組織）は生活支援・介護予防サービス体制整備協議体の構成委員であり、生活支援等サービスについて、生活支援の担い手の養成やサービスの開発の検討など連携して取り組んでいます。
----------------	--

### イ 民生委員・児童委員との連携

取組内容	民生委員・児童委員は市内に111名配置されており、それぞれ担当する地域で高齢者からの生活上の相談に応じたり、福祉サービスの情報提供や関係機関とのパイプ役として調整を行うなど、幅広く活動しています。また、地域福祉推進委員とも協力して友愛訪問や給食サービスを行っているほか、地域のまちづくり団体とも協力しながら活動を行っており、地域福祉を牽引する極めて重要な存在です。
------	--

現状と課題	今後の方向性
民生委員・児童委員は、月1回の定例民生委員児童委員協議会、地区定例会、部会活動（老人福祉部会、児童福祉部会、障がい者福祉部会、広報部会）などで研修を行い、担当地区において相談・支援活動を行っています。	福祉ニーズの多様化に伴い、支援内容も幅広くなっていることから、地域福祉活動に関する情報提供や研修等を通じて、民生委員・児童委員の質の向上及び活動の支援に努めます。

### ウ 老人クラブとの連携

取組内容	老人クラブは市内に48クラブ（平成29年4月現在）が活動しており、互いに支え合いながら健康づくりや友愛訪問活動、様々な奉仕活動など、日々精力的に活動しています。少子高齢化が進む本市において、介護予防や生きがいづくりの面からも、老人クラブが地域を「見守る」「支えあう」担い手として、あるいは社会を構成する団体の一つとして、極めて重要な存在に位置づけられており、今後とも福祉施策と連携した活動を推進することで、活動の拡大が期待されます。
------	--

現状と課題	今後の方向性
老人クラブは、身近な仲間同士の友愛活動に留まらず、地域性を活かした様々な社会活動に	高齢者の価値観の多様化により、老人クラブ活動の参加が減少傾向にあることから、様々な機会

積極的に参画することで、世代を超えたふれあい活動を展開し、地域にとって必要不可欠な存在としての役割を担っています。	や広報を通じて、老人クラブの情報ははじめ、参加の意義等について、周知・啓発に取り組むとともに、老人クラブへの活動支援を図っていきます。
---	---

## エ 関西福祉大学との連携

取組内容	関西福祉大学を地域のシンクタンクと位置づけ、福祉・医療（看護）分野をはじめとする課題の解決に向けた、継続的な官学の連携体制を推進しています。
------	--

現状と課題	今後の方向性
関西福祉大学とは、市福祉部局において地域社会に向いての实践活动を行っており、「ユニバーサル社会づくり推進事業」など、関西福祉大学の教員や学生との参画・協力を得ながら、積極的に事業を展開しています。	大学及びその学生の力は、福祉の向上において重要であることから、今後も密接な連携・協力体制を推進していきます。

## オ 地域ボランティアとの連携

取組内容	<p>地域包括ケアシステムの構築と総合事業の充実を図る上で、市民・団体・事業者・行政など、多様な主体による助け合い、支え合いの仕組みづくりが重要です。</p> <p>生活支援サービスの充実と介護予防の担い手となるボランティアは、介護保険などの公的なサービスのいわゆる隙間を埋める役割を果たすものと考えられており、生活支援コーディネーターを中心にボランティアの発掘・養成・組織化と、ボランティア意識の醸成に努めています。</p>
------	---

現状と課題	今後の方向性
<p>社会福祉協議会において、小地域福祉活動の活性化に向け、小地域福祉活動リーダー研修会をはじめとする各種講座、研修会等を開催し、地域における福祉活動の担い手の発掘、人材の育成に取り組んでいます。</p> <p>また、高齢者の社会参加と介護予防を目的とした介護ボランティア・ポイント事業を推進しています。</p>	<p>人口減少、少子高齢化の進行により、地域の支え手も減少していくと考えられる。その一方で、支援を求める人が増えており、また求める内容も多様化・複雑化しています。</p> <p>住民主体の取組やボランティアの養成について、生活支援コーディネーターとの連携により、進めていきます。</p>

## ③ 老人日常生活用具給付等事業

現状と課題	今後の方向性
おおむね 65 歳以上の心身機能の低下に伴い、防火等の配慮が必要なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、日常生活に必要な品	今後も高齢者の生活環境の向上のため、日常生活に必要な機器について継続して実施していきます。



物の貸与や給付をし、安全で快適な生活を支援しています。	
-----------------------------	--

【自動消火器、電磁調理器等の給付状況】

■件数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（件）	0	4	3

④ 高齢者住宅改造助成事業

現状と課題	今後の方向性
<p>高齢者が住み慣れた住宅で安心してすこやかな生活を送れるよう住宅を改造する場合に、その改造費用の一部を助成しています。</p> <p>今後、高齢者の増加が見込まれるため、ニーズは高まっていくと思われます。</p>	<p>地域包括支援センターや在宅介護支援センター、ケアマネジャー等との連携を密にし、制度の周知・利用啓発を行うとともに、住み慣れた居宅で安心して快適にすごせるよう制度の充実を図り、住まいの整備を通じて在宅での生活支援に努めていきます。</p>

■助成件数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（件）	27	16	30

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	5,107,936	3,508,000	8,009,000

⑤ ねたきり老人等寝具貸与事業

現状と課題	今後の方向性
<p>6ヶ月以上ねたきりで介護が必要な状態にある65歳以上の高齢者または、65歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、年1回寝具を貸与し2週間に1回、カバーの交換を行っています。</p>	<p>今後も必要な高齢者にサービスが行き届くよう、地域包括支援センターや在宅介護支援センター、ケアマネジャー等を通じ、制度の周知・利用啓発の充実を図り、高齢者の快適な生活の確保に努めます。</p>

■実利用者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	1	1	3

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	86,378	86,275	245,000

⑥ 在宅老人介護者支援事業

現状と課題	今後の方向性
<p>ねたきり・認知症・重度の障がいのある人の介護者が組織する「介護者の会」に補助金を交付することにより様々な援助活動を支援し、在宅介護における介護者の精神的・身体的負担の軽減を図っています。</p>	<p>今後も、在宅介護における介護者の精神的・身体的負担の軽減を図るため、認知症対策に係る施策等と連携して実施していきます。</p>

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	170,000	170,000	170,000

⑦ 生きがいデイサービス事業

現状と課題	今後の方向性
<p>老人福祉センター万寿園において、介護保険の対象にはならない虚弱な高齢者を対象に、地区別に週1回、健康チェックや入浴サービス、レクリエーションのほか、貯筋体操等を実施しています。</p>	<p>今後も引き続き、民生委員や地域包括支援センター、在宅介護支援センターと連携を図ることで対象者の把握に努め、利用促進に取り組みます。</p> <p>高齢者の閉じこもりを防止し、社会参加の促進を図るとともに、利用者が生きがいのある豊かな高齢期を過ごせるよう取り組んでいきます。</p>

■延利用者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	1,692	1,661	2,000

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（円）	4,174,895	3,849,147	4,600,000

⑧ ホームヘルプサービス事業

現状と課題	今後の方向性
<p>介護保険の対象にはならないが、日常生活に支障がある 65 歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯を対象に、赤穂市ホームケアセンターにヘルパー派遣を依頼し、日常生活上の軽易な家事援助を実施する事業です。ヘルパー利用料金の一部を助成しています。</p>	<p>今後も引き続き、日常生活に支障がある高齢者を自立支援に基づいた軽易な援助により支援することで、要介護状態への移行の未然防止に努めます。</p> <p>また、住み慣れた住宅で継続して生活できるよう、生活環境の向上と豊かな高齢期の実現に向けて取り組めます。</p>

■延利用者数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
実績値（人）	84	89	110

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	2,452,545	2,487,585	2,950,000

⑨ ひとり暮らし老人等火災警報器購入助成事業

現状と課題	今後の方向性
<p>消防法及び赤穂市火災予防条例による住宅用火災警報器の設置義務化を受け、火災警報器を設置した 75 歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯に対し、その設置費用の一部を補助しています。</p>	<p>今後も、高齢者の安全を守るため火災警報器の設置を促進し、住宅火災による被害を未然に防止に努めます。</p>

■助成件数<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (件)	13	20	30

■事業費<現状>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込)
実績値 (円)	34,800	49,186	78,000

## 2 生きがいづくりや社会参加の促進

### (1) 老人クラブ活動への支援

現状と課題	今後の方向性
<p>老人クラブは、地域の「支え手」として豊かな地域社会づくりに必要不可欠な存在です。</p> <p>本市の老人クラブは、「健康・友愛・奉仕」の3つの原則を軸に、高齢者が自らの生活を豊かにする健康づくり、趣味やレクリエーションなどの個人的分野から、地域を豊かにする友愛訪問、清掃奉仕、伝承活動などの社会的な分野まで、多岐にわたって活動しています。</p> <p>近年では、価値観の多様化や地域コミュニティの希薄化、更に様々な社会参加の機会の創出により、加入者及び加入率が減少しています。</p>	<p>今後は、身近な仲間同士の友愛活動をはじめ、地域や各世代と積極的に交流を深めることで、地域での存在感を強め、若手会員などの新規会員が気軽に加入できる魅力ある老人クラブになるよう支援の充実を図り、活動の促進に努めます。</p> <p>また、本市の地域包括ケアシステムを担う地域団体のひとつとして、積極的な社会参加を促すとともに、福祉施策とも連携した介護予防の推進を図り、活動の活性化を図っていきます。</p>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度(見込)
助成クラブ数	49	47	48
会員数(人)	2,327	2,140	2,093
単位老人クラブ活動助成(円)	1,846,320	1,770,960	1,809,000
老人クラブ活動強化推進事業(円)	2,340,000	2,250,000	2,304,000
老人クラブ連合会活動助成(円)	307,639	296,980	312,000

### (2) 敬老支援

#### ① 敬老長寿ふれあい事業

現状と課題	今後の方向性
<p>まちづくり単位や自治会単位で75歳以上の高齢者を対象とした敬老会や、70歳以上のひとり暮らし老人を対象としたふれあい交歓会を開催し、多年にわたり地域社会の発展に寄与された高齢者を敬愛し、長寿を祝福しています。</p>	<p>地域のつながりが希薄化していると言われる中で、高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けるためには、地域や住民同士の絆をより深めることが大切です。</p> <p>地域で敬老行事を実施することで、各地域での「高齢者を見守る支えるネットワーク」づくりを推進し、見守り体制を構築するきっかけになるよう取り組むとともに、対象者の増加を踏まえ、各地域の意見も取り入れながら、参加しやすい事業を検討していきます。</p>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
参加者数（人）	2,867	2,774	7,659
事業費（円）	9,637,652	9,838,616	101,100,000

## ② 敬老祝金

現状と課題	今後の方向性
<p>敬老祝い金として、米寿（88歳）を迎えた人に20,000円、白寿（99歳）を迎えた人には30,000円を交付しています。また、市内の男女各最高齢者には50,000円、最高齢夫婦には夫婦併せて50,000円を交付しています。</p>	<p>今後も、長年にわたり地域社会の発展のために貢献された高齢者に感謝し、長寿を祝福する事業として継続していきます。</p> <p>また、お祝いする対象者の範囲なども含め、適正な実施方法について、引き続き検討していきます。</p>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
米寿（人）	245	282	280
白寿（人）	15	23	18
事業費（円）	5,516,264	6,492,627	6,305,000

## （3）老人福祉センターの利用

現状と課題	今後の方向性
<p>老人福祉センターは、高齢者に対して生活・健康等の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、レクリエーション等のための便宜を総合的に供与し、老人福祉の向上を図る施設です。本市には千寿園と万寿園の2施設があります。</p>	<p>老人福祉センターの老朽化に伴い、改修・設備更新を計画的に実施し、安全で快適に施設利用を提供できるよう努めます。</p>

### ① 老人講座開設事業（千寿園）

現状と課題	今後の方向性
<p>千寿園は、高齢者の趣味・知識・教養の向上を目的とした12種類の講座を開催し、レクリエーション等を通して相互交流の場を提供し、高齢者の生きがいがいづくりや老人福祉の向上に寄与しています。</p>	<p>広報等を通じて講座の周知・啓発に努めるとともに、高齢者相互の交流が活発に行えるよう、継続して実施していきます。</p>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
延受講者数（人）	3,965	3,294	4,000
事業費（円）	980,956	866,000	1,090,000

## ② 万寿園の利用促進助成

現状と課題	今後の方向性
<p>万寿園は、高齢者の健康増進やレクリエーション等による相互交流の場として提供している施設です。万寿園を利用する老人クラブに対し交通費の助成を行い、会員相互の親睦や老人クラブの活動を支援しています。各単位老人クラブに対しても事業の趣旨を広く周知し、老人福祉センターの利用促進を図っています。</p>	<p>引き続き老人クラブの活動拠点として交通費の助成を実施するほか、すべての高齢者に対する健康増進や介護予防、レクリエーションの場として活用が図られるよう、積極的な利用を広報・啓発していきます。</p>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
延助成クラブ数	5	4	7
事業費（円）	91,230	81,570	175,000

## （４）高齢者大学への参加

現状と課題	今後の方向性
<p>超高齢社会を迎えて、高齢者のみならず市民一人ひとりの生きがいづくりや自己実現の場として、生涯学習の重要性が増大しています。</p> <p>本市では、公民館等を拠点に、幅広いテーマによる高齢者大学や千種川カレッジが開設されています。高齢者大学等は、高齢社会に即応した教養や知識を身につけながら、余暇を利用したクラブ活動を通じて、仲間づくり、生きがいづくり及び地域活動のリーダー養成に取り組むとともに、理念とする健康で心豊かな生活を送るための取り組みを進めています。</p>	<p>生涯学習の機会は、単に知識や教養を身につけるためだけの場ではなく、市民一人ひとりに生きがいづくりの場であると言えます。</p> <p>多様化するニーズに応じた学習が行えるよう、学習機会や活動の場の提供について、一層充実させることが求められます。今後も引き続き、高齢者大学の活動についてのPRや講座の充実を図るとともに、高齢者人口の増加やニーズの多様化に応じた講座の開設を図ります。</p> <p>また、ボランティア活動を積極的に推進し、学校単位、クラブ単位、有志による「福祉施設への慰問活動」に取り組んだり、「小学生との合同講座」を実施し、地域のまちづくり活動に参加したりするなど、青少年健全育成と地域のコミュニティづくりにも貢献したいと考えています。</p>

## ■ 学生数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（見込）
高齢者大学	237	241	243
千種川カレッジ	837	820	819
合計	1,074	1,061	1,062

### （５）生涯スポーツの推進

現状と課題	今後の方向性
<p>本市では、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる「スポーツ先進都市」の実現を目指してスポーツ施策の推進を図っています。</p> <p>施設整備においては、地区体育館におけるスポーツ備品の更新を計画的に行うなど施設の整備・充実を図っています。</p> <p>ソフト面においては、赤穂市スポーツ推進計画に基づき、「スポーツクラブ21」の積極的な活動や誰もが気軽に取り組めるグラウンドゴルフや囲碁ボール、室内カーリングなどのニュースポーツの普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>高齢者の活動としても、「ゲートボール」「グラウンドゴルフ」などが定着していることに加えて、平成28年度より「健康タウン構想の推進」ラジオ体操講習会を実施し、シニア世代の健康づくりにつながる活動の推進に努めています。</p>	<p>今後も、スポーツによる健康づくりや体力づくりはもとより、仲間づくりを通して、老後の生活を豊かにするための生きがいをづくりにつなげることで、活力ある元気な高齢社会の実現に取り組んでいきます。</p>

### （６）シルバー人材センターの充実

現状と課題	今後の方向性
<p>赤穂市シルバー人材センターは、定年退職者等の高齢者が、働くことを通して社会に参加し、生きがいの充実を図ることができるよう、就業の機会を確保し、また、高齢者の豊かな知識と経験を活かし、活力ある地域社会づくりに寄与するために昭和62年に設立されています。平成28年度末の会員数は男性448人、女性</p>	<p>シルバー人材センターにおいて、就業機会の確保、就業開拓、事業拡大、適正就業等に取り組み、高齢者の就業を通じた生きがいを推進するとともに、会員による地域社会に貢献するボランティア活動を促進します。</p> <p>シルバー人材センターの取り組み内容や会員の自主活動等について、会報や、チラシ、イベント</p>

182人、計630人であり、粗入会率（対60歳以上人口比）は3.5%となっています。	等で広くPRするとともに、入会説明会や研修会を開催して、多様な特技や技能、意欲のある高齢者の就業への参加を促します。
--	--

	契約件数（件）	就業延人員（人）	契約金額（円）	比率（%）
技術	2	44	247,950	0.1
技能	1,001	4,183	46,534,635	15.2
事務	61	325	848,028	0.3
管理	41	7,123	48,997,187	16.1
折衝外交	8	552	2,752,230	0.9
一般作業	1,306	47,690	201,632,764	66.2
サービス	39	685	3,646,439	1.2
計	2,458	60,602	304,659,233	100.0

平成28年度実績